

2014年度 町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式 開催される



町田市教育委員会では、市内の小中学校で長年にわたって、授業中・放課後の学習支援、クラブ活動・部活動の指導、読み聞かせ等の読書指導、花壇等の環境整備支援、登下校の見守り等、様々な分野で学校支援ボランティアとして活動された方々

に感謝状を贈呈しています。学校支援ボランティア感謝状贈呈式は2008年度から始まり、今回で7回目となります。今年度は、個人として34名、団体として16の団体に感謝状が贈呈されました。佐藤教育委員長の開式の挨拶に続いて、坂本教育長から感謝状が受賞者お一人お一人に手渡されました。その後、受賞者を代表して、内村様と北村様からご挨拶をいただきました。続いて、指導主事から町田市学校支援ボランティアの取組をご報告するとともに、学校支援ボランティアコーディネーターの実践報告がありました。小学校からは高ヶ坂小、中学校からは町田第二中の実践事例が報告されましたが、コーディネーターとしての豊富な経験には多くの示唆が盛り込まれていました。そして、吉川学校教育部長の挨拶で、感謝状贈呈式を滞りなく終えることができました。贈呈式の実施にあたり、多くの方々にご協力をいただき心より感謝申し上げます。（裏面にアンケートの声を掲載）



南大谷小では、昨年につき“スポ育”プロジェクトに応募しました。希望がかない、日本ブラインドサッカー協会からブラインドサッカープレイヤーとサポートスタッフが派遣され、ブラインドサッカーの授業が行われました。授業の冒頭に「ブラインドサッカーは一人ではできません。協力していくことが必要です。」というメッセージがあり、次に、どのような協力の仕方があるかを教えてもらいました。音声案内をする人（コーラー）が「右ポストはここだよ。」と言って、ポストをポンポン叩くと、アイマスクをつけた選手は鈴の入ったボールを耳と足とでボールコントロールしてシュートを放っていました。選手のお手本に倣って、児童は協力しながらブラインドサッカーを実体験しました。ブラインドサッカーを通して、「チームワーク」「コミュニケーションの重要性」「視覚障がい」について学び合い、新たな気づきがあったことと思います。

一方、4年の他の学級では、点字の授業がありました。視覚障がいの方にとって点字は情報を得るための貴重な手段であり、そのために、点字で書籍や文書を作る活動はたいへん有意義な社会貢献となります。点字を実際に体験してみて、「難しいと思ったけど、自分でも点字ができた」「私も点字を通して誰かの役にたてるかもしれない」と考えた児童も多かったことでしょう。



『金井中版 プロフェッショナル仕事の流儀』～職業人の話を聞く会



刀鍛冶職人



スポーツクラブ運営者



建築士



フィールドホッケー国際審判員



山岳カメラマン



元キャビンアテンダント



新人俳優

本授業の目的の一つに、「プロフェッショナルの方々から仕事に対する夢や心がけを聞き、子どもの『この仕事でいい』から『この仕事がしたい』の気持ちに切り替える」とありました。5学級の生徒はあらかじめ、話を聞いてみたい二人を選択していて、5校時に第1講座、6校時に第2講座を受講しました。自分の可能性を信じて、就きたい仕事に向けてどのように舵をとるのか。どのような準備が必要なのか。未来のヒントをいただいた一日でした。

繭の糸とり

小山中央小 1/15

3年生は3グループに分かれて、蚕の学習をしました。理科の先生からは養蚕についての説明がありました。チームシルク(小山中央小養蚕学習ボランティア)と担任の先生からは、一個の繭から糸をとりだし、ペットボ



①



②

トルに巻き取るやり方(①②)を教わりました。繭一個から1500メートルの絹糸がとれるということです。ペットボトルを芯にして巻き取ることは根気のいる活動ですが、みんな夢中で巻きました。



③



④

チームシルクの山口さんは、座ぐり機を使った糸とり(③④)を実演しました。「座ぐりは先人の知恵の結集」の言葉のように、座ぐり機は、数個の繭から糸を集めて一本の生糸にし、糸枠に巻き取る機械です。座ぐり機の発明に

よって、バランスよく糸を巻け、撚りもかけることができ、格段に能率が向上しました。蚕を育てることから始まり、糸をとるところまで発展させたよい授業でした。

英語活動(6年)/サッカー(3年)

町田第一小 1/19

サッカーの授業に、NPO法人アイスフォゲルススポーツクラブをゲストティーチャーとしてお招きしました。体育のゴール型ゲームの導入段階で、意欲付けをねらって行うものです。



今年度の学校支援ボランティア感謝状贈呈式で感謝状を贈呈された寺本先生と担任による6年生の英語活動の様子です。ALTによる授業と内容が重ならないように行われています。

【連絡事項】

◇年度末活動日誌の提出について

今年度のVC謝金対象期間は、2014年4月1日（火）から2015年3月10日（火）までです。3月分を含めた最終的な日誌提出期限は、2015年3月11日（水）とします。学校支援センター事業は、国・都からの補助金で行っている事業であり、年度内に報告を上げる単年度事業であることをご理解の上、提出期限までに、学校交換便にて学校支援センター宛送付願います。なお、11月以前の日誌を提出していない方は、2月20日（金）が収受期限ですので、お忘れのないよう提出してください。

◇2015年度 学校支援VC及び学校支援連絡会委員の推薦について

2月12日の定例校長会で説明しましたが、来年度の学校支援ボランティアコーディネーターの推薦と学校支援連絡会委員の指名をしていただくようになっていきます。依頼文書は、定例校長会で配布してありますが、事務室宛にも電子メールでお送りしています。詳細は、そちらの方をご確認ください。提出の締切りは、3月11日（水）、提出先は、町田市学校支援センター（交換便にて）。

◇2015年度 VC専用端末機（MGN）の設置モデル校募集について

VC用のパソコン（MGN）は、全校設置に向けて段階的に進めてきました。当初の予定では次年度で全校設置を見込んでいましたが、諸般の事情により、次年度は5校程度に設置することになりました。2月9日付事務連絡「2015年度町田市学校支援センター学校支援ボランティアコーディネーター専用端末機（ASPシステム用端末）設置モデル校の募集について」で、関係小中学校宛に募集案内をいたしました。要望度が高い学校から設置していくこととなりますのでご理解のほどお願いします。申請方法は、添付の申請用紙に記入の上、3月2日（月）までに町田市学校支援センター宛送付願います。

学校支援ボランティア感謝状贈呈式のアンケートより

- 学校を支えてくださる地域の方々のボランティア活動には頭の下がる思いです。ボランティアなしに学校の教育活動は成り立ちません。その方々に感謝の意を表すたいへんよい機会となり、ありがたく思いました。
- スムーズな進行、ありがとうございます。TVでスライドを流してくださり、とてもわかりやすかったです。代表者の北村様、内村様のお話がよかったです。
- 高ヶ坂小VCの方の発表での①御用聞きに徹する②保護者のボランティアもとり入れるということに感心させられました。
町二中の学習支援は本校でも実践してみたい試みでした。
- 地域支援スタッフの活動は、町田市内の小中学校において毎年400名程度の生徒と共に、福祉体験学習のアイマスク、車椅子を実施していましたが、全市内が対象であったために、過去評価されず諦めておりましたが、この度の高ヶ坂小学校よりの推薦での感謝状は、この活動15年に向けての会員一同の励みになりました。
- 50からのボランティアを一堂に集めての企画・運営、とても大きなエネルギーが必要になったことと思います。ありがとうございました。
- 市役所で行われるのはありがたい。来やすい。
- 時間どおりの開催、テンポの良い運営で延長することなくお忙しい皆さんにとっても有り難かったと思います。